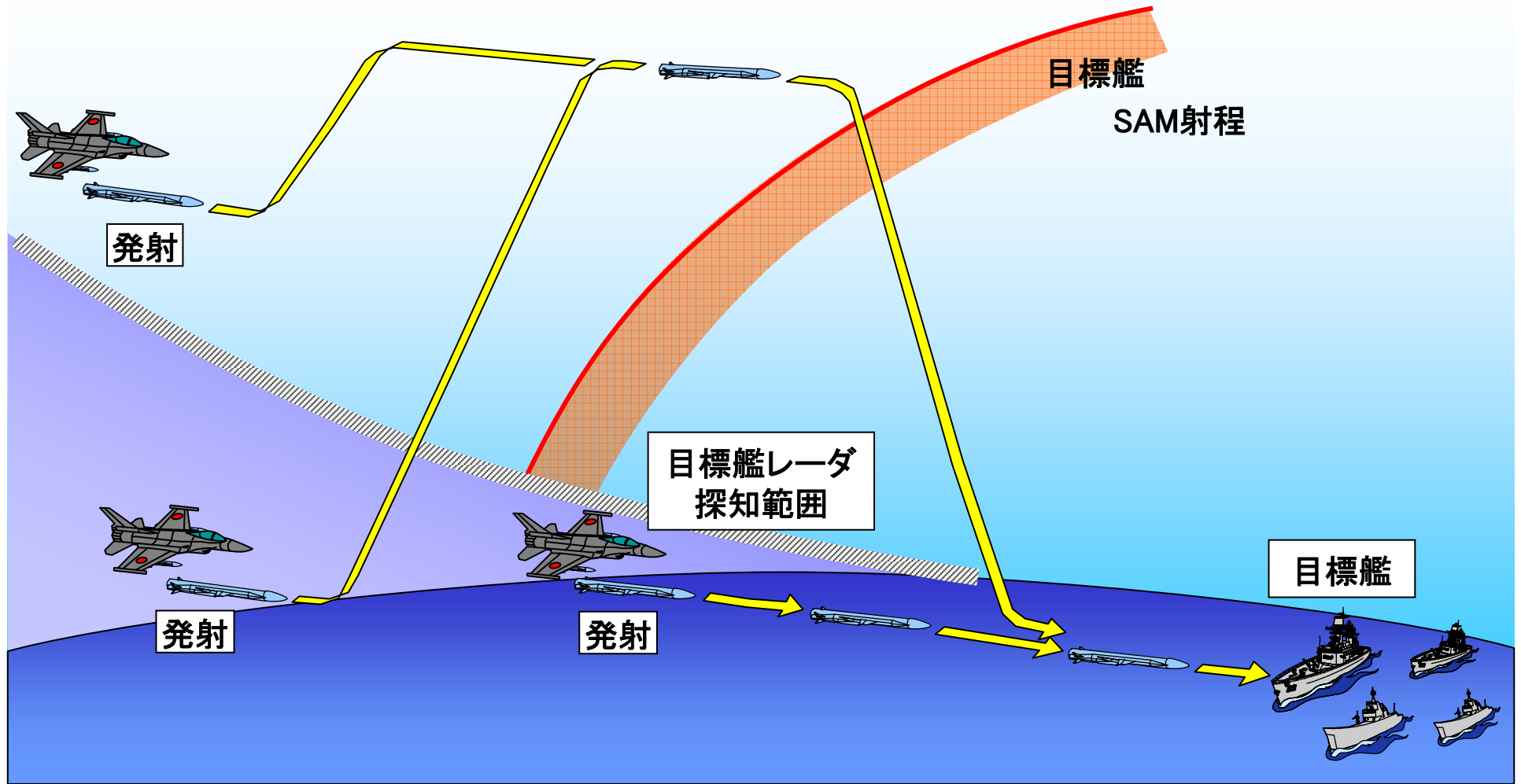


運用構想



諸外国との技術比較

名称	新空対艦誘導弾 (XASM-3)	80式空対艦誘導弾 (ASM-1)	93式空対艦誘導弾 (ASM-2)	ANF	Kh-31A (Mod2)	Kh-41	
国名	日本	日本	日本	フランス	ロシア	ロシア	
性能・諸元	射程	中	小	中	大	小	大
	速度	大	小	小	大	大	大
誘導方式	慣性+複合シーカ	慣性+ARH	慣性+IIR	慣性+ARH	慣性+ARH	慣性+ ARH・PRH	
推進方式	IRR	ロケットモータ	ターボジェット・エンジン	IRR	IRR	IRR	
装備化	2011年以降	1980年	1993年	2005年以降	1990年代	1996年 生産開始	

ARH: Active Radar Homing(アクティブ電波誘導:自らが放射する電波で目標位置情報を取得する電波誘導方式

PRH: Passive Radar Homing(パッシブ電波誘導:目標が放射する電波で目標位置情報を取得する電波誘導方式

IIR: Imaging InfraRed(赤外線画像(誘導方式))

複合シーカ:ミサイルに用いる電波誘導装置には、自らが放射する電波で目標位置情報を取得するアクティブ方式と目標が放射する電波で目標位置情報を取得するパッシブ方式があるが、両方式を併用する複合シーカは、情報量の増加及び信号処理により、1方式のみ使用のシーカに比べて、目標選択・捕捉能力、対妨害能力などが向上する。

出典) Aviation Week & Space Technology, Jan's Strategic Weapon Systems, Jan's Air-Launched Weapons